

丸徳グループ

車両分科会

だ

よ

り

Vol.22

丸徳グループ各社従業員の皆様
毎日の業務、ご苦労様です。

今月の記載内容は・・・

- ・ 雪道を上手に運転する **7つのコツ**
- ・ 意外に知らない **4つ**の交通違反
- ・ 交通ヒヤリハット
(冬の早朝、深夜の運転)
- ・ 愛知県警からのリーフレット12月

これさえ守れば冬は全然怖くない

雪が降ると運転が怖いと感じてませんか。
雪道を上手に運転するコツをおさえて、
事故防止に努めましょう。



雪道を上手に運転する7つのコツ

- 急発進、急ブレーキ、急ハンドルをしない
- 視界を確保する
- 車間距離を多めにとる
- わだちを走る
- カーブ手前で必ず減速する
- 常に燃料を多めに入れておく
- スタッドレスタイヤやチェーンを装着する



アイスバーン（路面凍結）が発生しやすい
橋の上・トンネルの出入口・交差点付近では
特に注意が必要です。

スタッドレスタイヤを装着しているからと過信
せず、**安全を心掛けて運転しましょう。**

意外と知らない交通違反

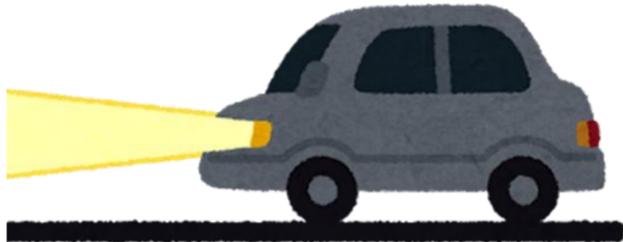


知らなかったわ...

それでも捕まる**道路交通法**

ハイビームのまま運転

「車両等の灯火」



【反則金】 普通車6,000円

中・大型車7,000円

【点 数】 1点

他の車両の後ろを走行する場合や、すれ違う際にハイビームのまま走るのは違反とされています。

雪道をノーマルタイヤで走行

「運転者の遵守事項」



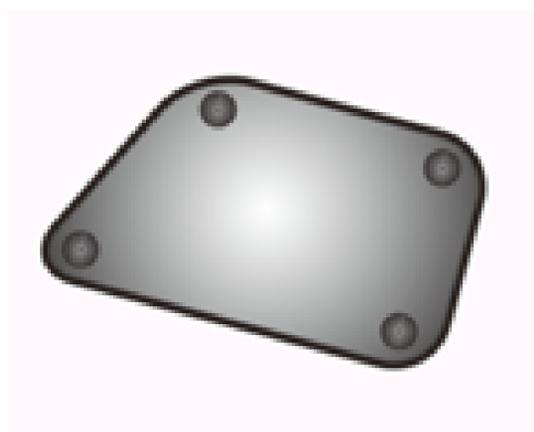
【反則金】 普通車6,000円

大型車7,000円

【点 数】 なし

各都道府県公安委員会では積雪・凍結した道路でのスタッドレスタイヤの着用を義務付けています。

運転席・助手席窓にサンシェードをして走行



「乗車又は積載の方法」

【反則金】 普通車6,000円

中・大型車7,000円

【点 数】 1点

助手席・運転席窓にカーテンやサンシェードをつけての視界が妨げられる状態での走行は禁止されています。

自転車の傘さし運転



「運転者の遵守事項」

自転車に関する違反は「反則・減点」ではなく「罰金」となります。

【罰 金】 5万円以下

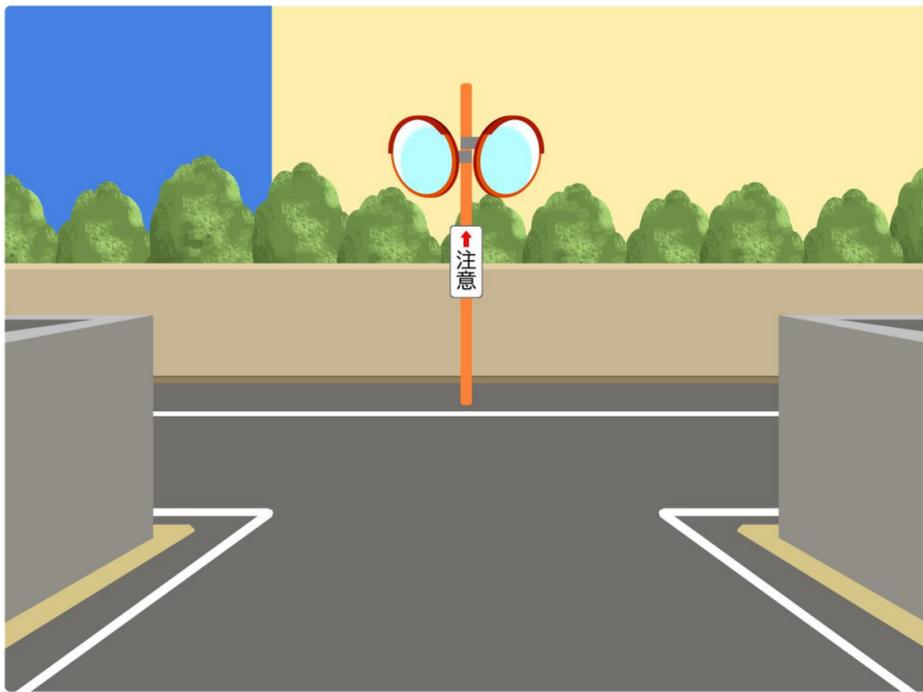
安全なハンドル、ブレーキ操作ができない傘さし運転も違反となり、自転車の運転者にも適応されます。

以上の4点以外にも、意外と知らない交通違反はいっぱいあります。普段なんとなくしている運転を見直して、**交通違反や交通事故に注意しましょう。**



交通 ヒヤリハット

ヒヤリ：冬の早朝、深夜の運転



状況

早朝に仕事に行く為、
自動車を運転していた。
T字路で右折しようとして
ブレーキを掛けた。



ヒヤリ

減速せずカーブの途中で
ブレーキを掛けた為、
車が横滑りし1回転した。

寒い時期に車を走行する時は、「**急ハンドル・急ブレーキ**」避けて
運転しましょう。また、カーブをする時や交差点で曲がる時は手前で
十分に**減速して走行**しましょう。
時間に余裕を持って運転しましょう。



夕方の5～7(ゴータナ)は“魔の時間”
～歩行者は反射材等を着用
ドライバーは早めのライトオン～

交通事故防止のPOINT

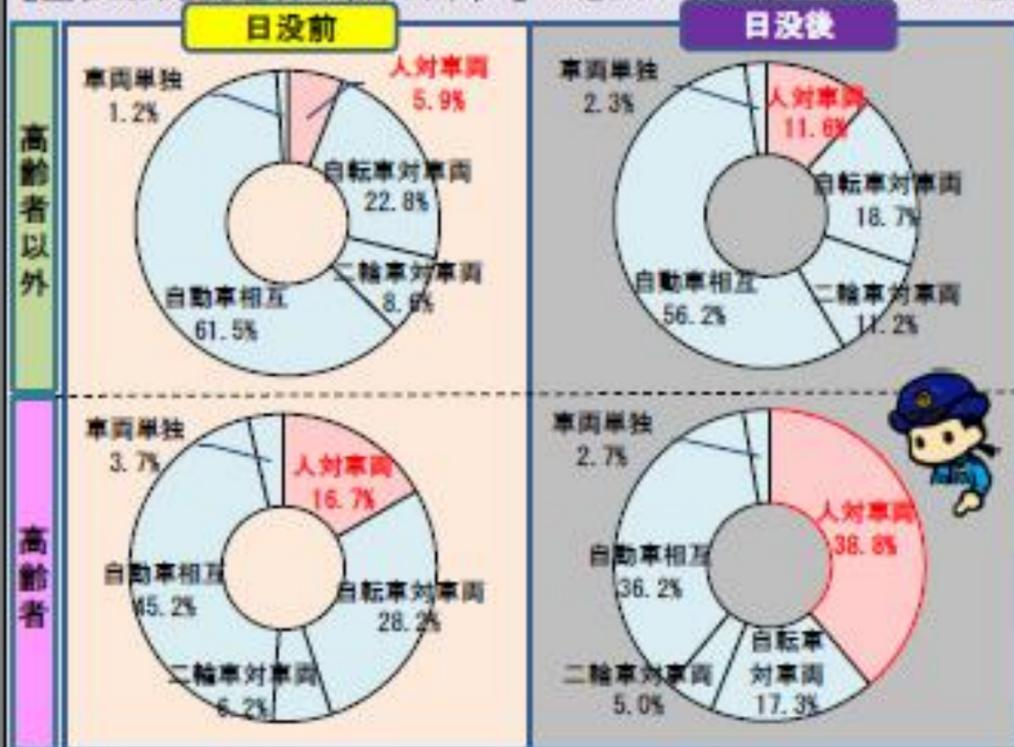
12月号



日没後は高齢歩行者事故が多発!

～加齢による視機能の変化を知りましょう～

【昼夜別死傷者数(構成率)】 ※過去5年(令和元年～令和5年)に愛知県内で発生した事故(列車事故を除く)をもとに作成



日没前:日の出から日の入り前までという
日没後:日の入りから日の出前までという

左の表をご覧ください。
交通事故による「人(歩行者)対車両」事故の死傷者構成率は、「日没前」よりも「日没後」、「高齢者以外」よりも「高齢者」が多いことがわかります。
特に「日没後」の「高齢者」の死傷者構成率は、顕著に高くなっています。

先月号は、眼の特性から、暗い時間の事故防止についてお伝えしましたので、今回は、加齢に伴う視機能の変化を紹介します。

11月号に引き続き、

日本交通医学工学研究会所属 名古屋大学医学部眼科 病院助教 井岡大河先生に伺いました!

POINT 加齢に伴う視機能の変化(低下)を理解し、安全確認をより慎重に!



井岡先生

年齢を重ねると以下のような視機能の変化があります。
理解したうえで慎重な運転や歩行時の安全確認をお願いします。



①老人性縮瞳(ろうじんせいしゅくどう)
暗いところで瞳孔が開きにくくなり光を取り込みづらくなるため、若年層よりも物が見えにくくなります。

②視細胞の減少
暗い中で動く物や光への反応が低くなります。

③ドライアイ
涙の量が減り、光の散乱やまぶしさを強く感じるようになります。

④角膜のにごり
透明性が失われ、視力が低下したり、まぶしさを感じるようになります。

⑤眼瞼下垂(がんけんかすい)
まぶたが下がってきて、上方が見にくくなります。

⑥緑内障・白内障のリスク増
視野が欠ける、狭くなる、ぼやけてみえる、暗い場所で見えにくくなる、物がダブって見えるなどの症状が現れます。



名古屋大学医学部眼科 結城賢弥准教授

加齢による視機能の変化は、ゆっくり進行することが多いため**自分で気が付きにくいものです**。視力が良いからと安心せず、積極的に眼科を受診し、検査により現在の自分を知ったうえで、安全な行動をとることがとても重要です。

これらの変化は、歩行者、ドライバーともに交通事故の発生に影響する可能性があります。
すべての年代の方が、「自分の存在は相手に気づいてもらっているのか」、「自分が認識していない人や車がいなか」を考えて行動することが大事です。



◆12月の日没時刻は、午後4時40分(1日)から午後4時50分(31日)です。